

## 県北地域におけるダットンソバの栽培法

県北地域におけるダットンソバの播種適期は7月第2～4半旬頃で、播種量は、条播の場合、普通ソバより少ない4～6kg/10a、施肥量は普通ソバ並の基肥窒素量2～4kg/10aで栽培でき、子実収量は200～250kg/10a程度が見込める。

### 播種適期

5月下旬～6月下旬頃の播種では倒伏程度が大きく収量性が低いことから、播種時期は7月第2～4半旬頃とする。

### 播種量

畦幅30cmの条播の場合、普通ソバより少ない4～6kg/10aとする。

### 施肥量

基肥窒素量は、普通ソバ並の2～4kg/10aとする。

### 収量性

普通ソバより収量性が高く、子実収量は200～250kg/10a程度が見込め、千粒重は18～19gである。

### 留意点

- ・成熟期は7月第4半旬頃の播種で10月第2～5半旬頃となる。
- ・施肥量が増加すると子実収量は高くなるが、草丈が高くなる場合があるので、倒伏を避けるために地力に応じて施肥量を加減する。
- ・出芽が普通ソバよりやや遅いが、十分な碎土、整地を行い出芽を揃えれば、普通ソバ同様除草は不要である。
- ・本試験は、昭和60年頃から軽米町で栽培されている在来系統を供試して検討した。



写真 ダットンソバと普通ソバの子実

左：ダットンソバ 右：普通ソバ（岩手早生）

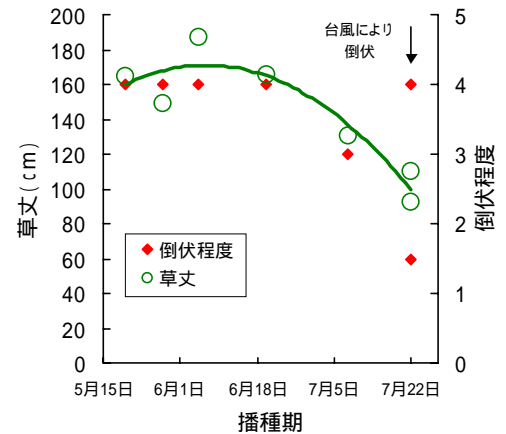


図1 草丈と倒伏程度  
(H14～15、播種量 6kg/10a)

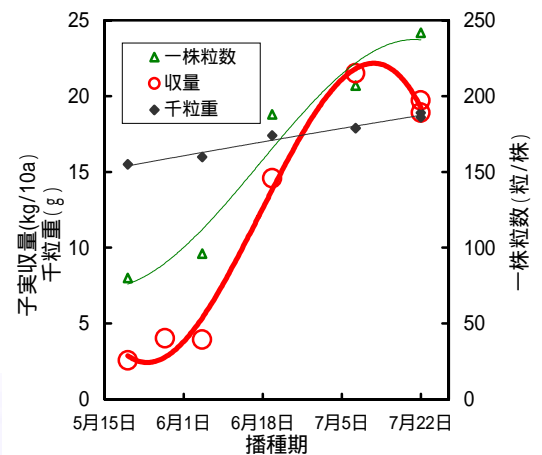


図2 子実収量と一株粒数・千粒重  
(H14～15、播種量 6kg/10a) 一株粒数は未熟粒含む。